

## (11) 公園

## ア 公園

## ①サービス、施設の状況

公園は、休息、散策、遊戯、運動などレクリエーションの場であるとともに、都市環境の改善、景観の形成、防災性の向上等に寄与しています。

本市の都市公園はその大きさや機能により分類することができ、総合公園として長門市総合公園、地区公園として小河内公園があります。また、その他公園として、湊はまゆう公園、田屋後田公園等が整備されています。このほかにも、小規模な児童公園等もありますが、本書では、比較的規模の大きな公園を対象とします。

中でも、総合公園における公園施設は「ルネッサながと」（文化施設）・図書館とともに、市民に広く親しまれており、多くの親子連れが連日訪れる人気の施設です。大型遊具や芝生広場、テニスコート、ウォーキングコースなどを備えており、市民の憩いの場として利用されています。

公園内の施設としては、園路や広場、管理施設、遊戯施設、休養施設、便益施設などがあります。具体的には、遊具、東屋、ベンチ、トイレ、フェンスなどが挙げられますが、これら施設はいずれも老朽化が進んでいるのが現状です。

## ◆主な公園一覧

No	公園名	主要建物 建築年度	主要建物	遊具等	敷地面積 (㎡)
1	長門市総合公園	H11	管理棟、トイレ、東屋	大型複合遊具11基	121,540
2	小河内公園	S57	トイレ、野球観覧席	遊具等2基	45,766
3	湊はまゆう公園	H18	トイレ	複合遊具等7基	7,166
4	田屋後田公園	H12	なし	複合遊具等1基	2,863
5	駅南1号児童公園	H2	なし	複合遊具等2基	3,705
6	駅南2号児童公園	H2	なし	なし	1,001
	全体				182,041

## ②管理運営及びコスト、利用状況

公園については、一部を除き日中のみの利用を想定しており、テニスコートを除く施設については入場料等も無料です。

総合公園については、市の直営で管理しており、施設の維持管理や安全確保のため、毎日管理人を置いています。

利用状況について、本市の公園には管理人がいないケースが多く、管理人を置いている施設についてのみ把握していますが、総合公園が年間約 21,600 人と小河内公園が年間約 7,000 人となっています。

一方、維持管理経費については、平成 23 年～平成 25 年の平均（遊具等の大規模修繕費を除く）で、年間約 850 万円となっています。施設自体は無料であるため、収入は園

### 第3章 公共施設の現状

内に設置されている自動販売機の販売手数料等のみとなっています。

大型遊具等の設置後十数年が経過しており、毎年点検を実施し、必要があればその都度修繕していますが、いずれは長寿命化等の老朽化対策が必要となり、遊具の修繕費の増加が見込まれます。

#### ◆利用状況一覧

No	施設名	利用者数				備考
		(人)				
		H23	H24	H25	3カ年平均	
1	長門市総合公園	19,697	22,306	22,748	21,584	芝生広場利用者数
2	小河内公園	7,000	7,000	7,000	7,000	詳細の集計は不可能
3	湊はまゆう公園	—	—	—	—	管理人等が不在のため利用者数集計不可能
4	田屋後田公園	—	—	—	—	管理人等が不在のため利用者数集計不可能
5	駅南1号児童公園	—	—	—	—	管理人等が不在のため利用者数集計不可能
6	駅南2号児童公園	—	—	—	—	管理人等が不在のため利用者数集計不可能
	全体	26,697	29,306	29,748	28,584	

#### ◆維持管理経費の状況

No	施設名	収入の状況	支出(維持管理経費)の状況			
		(千円)	(千円)			
		(H23～H25平均)	H23	H24	H25	3カ年平均
1	長門市総合公園	489	3,459	4,051	3,673	3,728
2	小河内公園	263	2,654	2,557	2,433	2,548
3	湊はまゆう公園	79	591	651	798	680
4	田屋後田公園	0	618	783	545	649
5	駅南1号児童公園	0	788	925	899	871
6	駅南2号児童公園					
	全体	831	8,110	8,967	8,348	8,475

#### ③まとめ

公園は、休息、散策、遊戯、運動などレクリエーションの場であるとともに、都市環境の改善、景観の形成、防災性の向上等に寄与しています。本市には主な施設として、長門市総合公園、小河内公園等があります。

中でも、総合公園は、大型遊具や芝生広場、ウォーキングコース、テニスコートなどを備えており、「ルネッサながと」(文化施設)、図書館とともに市民に広く親しまれており、多くの親子連れが連日訪れる人気の施設です。

公園内には、遊具、東屋、ベンチ、トイレ、フェンスなどがあり、遊具等の大規模修繕費を除く維持管理経費については、平成23年～平成25年の平均で、年間約850万円かかっています。テニスコート以外の施設は無料であるため、収入は、テニスコート使用料と園内に設置されている自動販売機の販売手数料等のみとなっています。

大型遊具等の設置後十数年が経過しており、毎年点検を実施し、必要があればその都度修繕していますが、いずれは長寿命化等の老朽化対策が必要となり、遊具の修繕費の増加が見込まれます。

### 第3章 公共施設の現状

今後は、ますます少子高齢化が進む中で、限られた予算を効率的、効果的に活用して、より多くの市民の皆様へ安全・安心に利用してもらえるように、適切な管理をしていく必要があります。

